

(仮称) 国際センター駅北地区複合施設について
《音楽ホール・中心部震災メモリアル拠点》

1 趣旨

本市では、かねてより検討を行っていた「音楽ホール」、「中心部震災メモリアル拠点」を複合施設として青葉山エリアに整備することとし、令和4年8月に「国際センター駅北地区複合施設基本構想に関する懇話会」を設置し、基本構想の検討を進めている。

現在の検討状況は以下のとおり。

2 複合施設の概要(案)《国際センター駅北地区複合施設に関する懇話会資料より抜粋》

(1) 整備予定地

せんだい青葉山交流広場

(2) 複合施設の基本理念・目指す施設像

【基本理念】

人・文化・まちを育む創造の広場

～人と人、過去と未来、仙台と世界を文化でつなぐ～

【目指す施設像】

① 多くの人を訪れ、交流し、新しい価値を創造する場

多くの人気軽・自由に訪れ、新たな価値に出会うことができ、多様な交流が次の創造的取組みへとつながり地域に新しい価値を広げていく。

② 仙台を知り、磨き、仙台オリジナルの発信につなげる場

全国的にも例を見ない文化芸術と災害文化の複合施設として仙台を「知る」原動力となるとともに、都市個性を高め、国内外に向け「仙台オリジナル」の文化の発信を行っていく。

③ ネットワークを形成し、市内外から人が訪れたいくなる場

青葉山エリアに立地する特性を生かし、周辺施設との有機的な連携のもと、仙台の文化観光の拠点として広域から人を呼び込み、まち全体に活気をもたらす。

(3) 音楽ホールの基本方針

仙台の文化芸術の総合拠点

① 「楽都仙台」を象徴する実演芸術の拠点

② 文化観光交流の新たな核となる拠点

③ 復興の過程で明らかとなった文化芸術力を社会に生かす拠点

(4) 中心部震災メモリアル拠点の基本方針

災害文化の創造拠点

- ①防災環境都市・仙台ならではの災害文化創造拠点
- ②災害文化を市民のものとし、社会に定着させる拠点

(5) 複合施設の施設概要

【主な施設】

- 大ホール（クラシックのコンサートやオペラ・バレエの上演などをはじめとする生の音源に対する音響を重視した2,000席規模のホール）
- 小ホール（300～500席程度）
- 音楽リハーサル室、舞台芸術リハーサル室、練習室、ワークショップゾーン等
- 災害文化展示スペース、交流連携スペース、インフォメーションスペース
- 交流イベントロビー（エントランス）、クワイエットスペース、屋外広場等

【施設規模】

想定延床面積：31,000～32,000㎡程度 ※施設内駐車場面積は算定せず

(6) 全体スケジュール

年度	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	
行程	基本構想		基本計画		設計者選定・設計等			入札・建設工事・外構工事・開館準備等			開館

※分離発注方式で整備を行った場合の想定スケジュール